

# IMF サーベイ

国際金融安定性報告書

## 欧州の銀行、低迷する成長により引き続き圧力下に

IMF サーベイ・オンライン  
2012年4月18日



フランス・パリの銀行の前を通り過ぎる人：政策当局は、ここ数ヶ月の間に国際金融システムを安定させるための措置を採った。（写真：Gonzalo Fuentes/Reuters）

- 世界の金融の安定性はここ数カ月間で改善
- 依然として金融システムは脆弱、金融市場は変動的
- 政策当局は、信頼の回復に向け長期的な改革にコミットしなければならない

欧州の銀行は、弱い成長と多額の債務返済のために依然として圧力にさらされている。国際通貨基金（IMF）は、最新の[国際金融安定性報告書](#)（GFSR）で、欧州の銀行は、レバレッジ解消として知られる資産の圧縮と自己資本増強によるバランスシートの強化を行い、投資家の信認を取り戻すことが必要だと述べている。

欧州の政策当局は、最近数カ月間で重要な政策をいくつか実施し、金融システムの安定化に努めた。こうした政策には、イタリアやスペインで実施されているより強力な財政政策と構造政策、ギリシャへの融資と民間部門の債務再編に関する合意、欧州中央銀行による今後3年間にわたる銀行のリファイナンスを支援するための融資、及びより多くの資金を備えた一段と柔軟な危機管理計画などが含まれる。

IMF のホセ・ビニャルス金融顧問兼金融資本市場局長は「現行の政策により『信用収縮』は回避することができたが、欧州の銀行によるレバレッジの解消とともに、金融ストレスが大幅に強まった場合、欧州及びその他の地域で、資産価格、信用供与及び経済活動に深刻な打撃を与える可能性がある」と述べた。同報告書は、IMF の金融資本市場局により作成された。

ビニャルス氏は、最近の政策措置により生じた限られた余力を足場に、成すべき課題が多くあると語った。

### 健全なレバレッジ解消

同報告書は、2011年後半のユーロ圏の銀行部門と国債市場の深刻なストレスが、銀行のバランスシートの圧縮を促したと述べた。欧州の銀行は、2008年以降レバレッジの縮小圧力にさらされており、企業や個人への融資の縮小幅を抑えながら、資産の売却および資本の増強によりレバレッジの解消を行った。

銀行はバランスシートを強化して長期的に耐性を高める必要があるため、適切なバランスを取ることがカギである。同時に、経済成長と世界的な回復を損ないかねない融資の大幅な縮小を回避することが不可欠である。

「銀行は非主力事業を縮小し、ホールセール資金調達への依存を減らし、バランスシートをさらに強化しているため、一部のレバレッジ解消は健全である。ただし、ゴルディオロックスのように、その規模、ペース及び場所は適切でなければならない。すなわち、大規模すぎず、速すぎず、ある地域や国に集中しすぎないことだ」とビニャルス氏は述べた。

経済見通しは最近数カ月で若干改善したが、ユーロ圏の低成長により、政府、企業部門及び家計の重荷となっている高水準の債務の対処が一段と困難になろう。

IMFによると、新興国は、危機にあってこれらの国を支えた柔軟な政策と、的を絞ったマクロプルーデンシャルな措置を採り、一連のショックや欧州の銀行からのレバレッジの解消を行った。

国際金融安定性報告書は、世界経済の成長、及び国家債務と赤字に関するIMFの展望の発表翌日に公表された。なお、これらの報告書は、成長は弱く、赤字を過度に急激に削減するとリスクを招く恐れがあると述べている。

## 必要な政策

加盟国は、成長を支えながら引き続き財政赤字を削減すべきであるとIMFは述べている。これは、金融緩和政策、金融市場の圧力下でない加盟国による財政支援の十分に段階的な撤廃、及び生産性の向上と競争力強化のための構造改革を通し成し遂げることが可能である。

さらに、同報告書は、短期的優先課題2点を挙げている。

- ファイアウォールと呼ばれる、柔軟かつ強力な融資バックストップとともに、苦境下にある国は、調整努力を継続して下振れリスクの発生を防ぐ。
- 必要に応じファイアウォールから資金を調達し、弱体化した銀行の再編と整理への取り組みで補完しながら、欧州の銀行当局による徹底したマクロプルーデンシャル監督を通し、秩序ある銀行のレバレッジ解消プロセスを確保する。

また、政策当局者が完了しなければならない長期的改革も二つある。

- 銀行の監督と整理のための欧州全体の枠組みを含め、ユーロ圏の金融安定化枠組みの工程表、および通貨同盟の適切な機能を確保するための預金保険を策定しかつコミットする。
- 各国が経済ショックの際に支援を求めることができる共通の基金を通し財政のリスクシェアリングを拡大するなど、中央による財政政策に関する監督を強化する。

### 欧州以外の地域

IMFによると、日本と米国も巨大な財政赤字を抱えており、金融の安定性に対するリスクは欧州に限定されているわけではない。両国には、今後数年間にわたり成長を保護し、政府債務をより持続可能なレベルにまで削減するという安心感を金融市場に与える財政赤字削減計画が必要である。

米国は、住宅ローンの負担を抱える家計を支援するために、特にアンダーウォーターの状態にある住宅ローンの償却および借り換えへのアクセスの拡大を通じて、より積極的な政策を実施すべきだと IMF は述べた。

新興市場国は、なかでも欧州新興国に大規模に進出している欧州の銀行が、バランスシートを縮小し資産を売却するなか貸出を圧縮する可能性があるなど、ユーロ圏危機の影響に対処しなければならないだろう。

先進並びに新興市場国からなる 20 カ国グループ (G20) の **世界的な金融規制改革** を締結し、参加国全体で一貫して導入する必要がある。これには、システム上重要な金融機関への対処及び店頭デリバティブ市場の改革も含まれる。シャドバンキング・セクターの監督も強化すべきである。

同報告書は、全世界の政策立案者が集まり世界経済に関して協議を行う、ワシントン DC での IMF・世界銀行春季会合を前に発表された。